



国際ロータリー第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

御殿場 ロータリークラブ 週報

第2612回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30
- 国歌斉唱
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 内容 /
北駿地区におけるコロナの現状
御殿場市長 若林洋平君

会員慶事

- 会員誕生日 / 10月3日 林 則夫君
- 結婚記念日 / 10月1日 斉藤礼志君 智子様 ご夫妻
- 10月2日 勝又 誠君 通子様 ご夫妻
- 10月5日 石川又英君 つな子様 ご夫妻
- 10月5日 神谷高義君 和子様 ご夫妻
- 10月5日 芹澤正明君 賀寿子様 ご夫妻
- 10月6日 秋田 敬君 昭子様 ご夫妻
- 10月6日 勝又彦彦君 玲子様 ご夫妻

会長挨拶

白井良太



今日は「液状化」の話します。今日では地震が起きると土地が液状化して家が傾いて大騒ぎになりますが、どうして液状化するのか、そのメカニズムを話したいと思います。

その前に、御殿場市では液状化は起きません。御殿場IC付近の軟弱地盤でも起きません。そのことは元県会議員の加藤さんが日大の土質の守谷教授を呼んできて講演をされたときに自信をもって云っていました。

前回の東京オリンピックイヤーである1964年6月16日にマグニチュード7.5の新潟地震が起きました。年配の方は覚えていると思いますが、国体のために作られた昭和橋が崩落し、また、鉄筋コンクリート造りの県営アパートが躯体はそのままにいくつも横倒しになってしまいました。

日本はその頃高度成長期にあり、全国の沿岸部で盛んに埋め立てが行われていて、地震による液状化自体は珍しいものではなかったのですが、都市部の施設が被害を受けたのは初めてのことでした。

この地震では各地で液状化現象がみられ、建築基準法や地震防災対策に教訓を与えました。

最近では東日本大震災での浦安の被害が大きく、未だに住宅の復旧は終わっていません。家が傾き、マン

ホールが浮いて管路が使用できなくなり、下水道や排水路が被害を受けました。

土が水のような液状化現象は頭ではわかっていましたが、土木の講習会が何かで実験を見て、大きな衝撃を受けました。

その実験装置は、透明の水槽に粒度の揃った砂が敷かれ、ある程度固くした状態で、水がほぼ満タンに入っていました。その中に両端をガムテープで塞いだ塩ビパイプの切れ端が埋められ、敷かれた砂の上にはコンクリートのかけらが置いてありました。

そのままの状態では、コンクリートのかけらも塩ビパイプも落ち着いています。ところが水槽を叩くと塩ビパイプは浮かんでコンクリートは砂に埋もれてしまいました。一瞬で砂が水に変わる現象が起きました。

水位が高く砂が多い地盤は要注意です。御殿場市の場合は水位が高いですが砂質土ではなく粘性土のため多分大丈夫だと思います。



会長挨拶用
QRコード

9/24の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
55名	50名	43名	86%	100%

欠席者(7名)

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



ROTARY OPENS
OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

次回
10月8日の
例会

★東山荘講堂 ★12:30点鐘
★消防団の歴史と今後
前御殿場市消防団長
大胡田 明寿君



基本的教育と 識字率向上月間に因んで

勝又 英和 君

御殿場市では、平成28年度からまちづくりの基本的な方針として『第四次御殿場市総合計画』を策定しています。これは、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されています。

「基本構想」は、10年後の将来都市像を「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」として示すとともに、その実現に向けた基本目標を定めています。

「基本計画」は、基本構想で示された方針をそれぞれ前期（5年）、後期（5年）に分け実効性を高めるようにしています。期間は、前期が平成28年度～令和2年度で、ちょうど今年度が前期基本計画の最後で、後期基本計画に向けて新たな計画が策定されているところです。

「実施計画」は、基本計画に示した施策を効率的かつ効果的に実施するための計画書としての役割を果たします。実施計画は社会環境の変化や財政状況に柔軟に対応するため、毎年見直しを行っています。

また、この総合計画は、「産業」、「健康福祉」、「防災・市民生活」、「教育文化」、「環境」、「都市基盤」、「協働・計画推進」の7つの分野に分かれ、政策の方針が示されています。

この総合計画を受けまして、市長は『御殿場市の教育に対する大綱』、俗にいう「教育大綱」を策定します。これは、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の基本となる方針を分かりやすく伝えるために策定するものです。

御殿場市の教育委員会では、この市長の教育大綱を受けまして、『御殿場市教育振興計画』を策定しております。これは「人を育む環境の充実」、「生涯学習と

地域活動の推進」、「芸術・文化活動の振興」をはじめ、その他項目も併せ6本の柱から成り立っております。

以上のことを踏まえ、御殿場市の教育の体系についておさらいをしますと、まずは『第四次御殿場市総合計画』に則って、市長が『御殿場市の教育に対する大綱』を提言します。これを教育委員会が受けて『御殿場市教育振興計画』を作成し、それを実行していくかたちとなっております。また、教育委員会では、市長の教育大綱を受け、全国に先駆けて『御殿場市子ども条例』を策定いたしました。これは社会総がかりで子供を「まっとうな大人に育てよう」という試みであります。

ここで、御殿場市の教育委員会について少しお話をします。御殿場市の教育委員会は、市長部局、市議会と同じように、独立部局であります。そのために、教育委員会の職員はいずれも御殿場市からの出向というかたちで勤務しています。また、そのトップは「教育長」となります。なお、教育委員会の組織がこのかたちになったのは、平成27年に「地方教育行政法」という法律の改正があり、それを受けて平成28年の4月1日からとなります。ちなみに、私は（組織図の中の）「教育委員」という立場で仕事をしています。

最後に、前教育長の勝又雄雄先生がよく仰っていた「子育て四訓」をお伝えして終わりたいと思います。

乳児はしっかり 肌を離すな
幼児は肌を離せ 手を離すな
少年は手を離せ 目を離すな
青年は目を離せ 心を離すな



新型コロナウイルス感染症拡大防止に 対する小山町への寄付について

9月24日、臼井会長・秋田幹事より小山町へ20万円の寄付金の贈呈が行われました。福祉や医療に係る対策に役立てていただきます。



司会 勝又 淳君



出席報告 久保田勇輝君

9/24のスマイル

先日、無事にクラブ細則が改正されました。大役を果たして下さった『定款・細則検討委員会』の勝又洋委員長、そして委員の皆様ご苦労さまでした。これで、R1定款・手続要覧との間に齟齬が生じていた状態が解消されました。 前会長 勝又博文君